



平成30年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

平成29年10月30日

上場会社名 かどや製油株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2612 URL http://www.kadoya.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小澤 二郎  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理本部長 (氏名) 戸倉 章博 TEL 03-3492-5545  
 四半期報告書提出予定日 平成29年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無： 有  
 四半期決算説明会開催の有無： 有 (アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第2四半期の業績 (平成29年4月1日～平成29年9月30日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第2四半期	15,238	4.0	2,844	61.7	2,885	107.5	1,964	110.5
29年3月期第2四半期	14,643	7.7	1,758	144.8	1,390	18.7	933	25.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第2四半期	209.01	—
29年3月期第2四半期	99.27	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第2四半期	30,776	24,766	80.5	2,634.83
29年3月期	29,486	23,794	80.7	2,531.38

(参考) 自己資本 30年3月期第2四半期 24,766百万円 29年3月期 23,794百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期	—	0.00	—	115.00	115.00
30年3月期	—	0.00	—	—	—
30年3月期 (予想)	—	—	—	105.00	105.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 平成30年3月期の業績予想 (平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	28,500	△0.0	3,600	0.4	3,600	6.6	2,450	△8.3	260.65

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年3月期2Q	9,400,000株	29年3月期	9,400,000株
② 期末自己株式数	30年3月期2Q	282株	29年3月期	282株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年3月期2Q	9,399,718株	29年3月期2Q	9,399,776株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

尚、上記予想に関する事項は添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期貸借対照表 .....	3
(2) 四半期損益計算書 .....	4
第2四半期累計期間 .....	4
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書 .....	5
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	6
(継続企業の前提に関する注記) .....	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	6
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用) .....	6
(セグメント情報等) .....	6
(重要な後発事象) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、企業収益の改善が進み、国内株価は上昇しました。また、今後の政府の経済政策によっては、更なる景気の底上げが期待されます。しかしながら、世界経済は北東アジアの地政学的リスクへの不安感が払拭されず、今後の動向は不透明な状況となっております。

食品業界におきましては、国内市場の拡大は望めず、食の安全性確保や顧客ニーズへの対応等自社製品の差別化によるマーケットシェアの確保、海外進出による市場開拓等の対応が求められております。

このような状況下、当社は家庭用金印純正ごま油の発売50周年を記念して、同じく生誕50周年を迎える人気キャラクターであるリカちゃんを起用、幅広い世代に向けて当社の認知度を更に向上させるべく、広告活動を行っております。また、当社製品の品質の更なる向上のため、従来の品質管理に加え、新たに品質保証部を設置し、安全・安心で高品質の製品をお客様に提供できるよう活動を行っております。

販売数量につきましては、PET容器のごま油製品を中心に積極的な拡販活動を行った結果、ごま油全体では前年同期比6.6%増、食品ごまは前年同期比3.6%増となりました。また、売上高につきましては、前年同期比4.0%増となりました。

コスト面では、販売数量増加により処理量は増加しましたが、原料の払出価格の減少により、売上原価は前年同期比では9.8%減となりました。

一方、販売費及び一般管理費は、家庭用ごま油等の拡販、また交通広告を積極的に行ったため、拡売条件費および広告宣伝費等の販売経費が増加し、前年同期比10.4%増となりました。

この結果、売上高は15,238百万円(前年同期比594百万円増)、経常利益は2,885百万円(前年同期比1,495百万円増)、四半期純利益は1,964百万円(前年同期比1,031百万円増)となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

## ①ごま油事業

ごま油事業におきましては、家庭用金印純正ごま油と同じく生誕50周年を迎えるリカちゃんを起用し、公共交通機関でのステッカー広告および雑誌メディアを用いた積極的な広告活動を行いました。また、容器を軽くて持ちやすいPETに変更したことが消費者から支持を受け、結果、売上高および販売数量ともに前年を上回る結果となりました。

原料購入価格および払出価格は、前期より低下しており、単位当たりの原価は前期を下回っております。

こうした環境下において、当社はごま油の用途多様性に着目し、濃口や純白のごま油の訴求活動を行い、市場拡大に努めております。

以上の結果、売上高は12,701百万円(前年同期比597百万円増)、セグメント利益は2,396百万円(前年同期比957百万円増)となりました。

## ②食品ごま事業

食品ごま事業におきましては、スーパーマーケットやドラッグストアへの販路拡大により家庭用食品ごまの売上げが伸長、業務用では加工ユーザー向けのねりごまが好調ではありましたが、一部製品の価格見直しを行ったことにより、売上高は前年より微減となりました。また売上原価はごま油と同様に、単位当たりの原価は前年を下回っております。

こうした環境下において、当社は空気力で自立するエアホールドパウチ仕様のねりごまを開発し、販促活動を行っております。

以上の結果、売上高は2,530百万円(前年同期比3百万円減)、セグメント利益は445百万円(前年同期比127百万円増)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期末の資産につきましては、前期末に比べ1,290百万円増加しました。これはたな卸資産が76百万円、有形固定資産が98百万円減少するなどの減少要因があったものの、現金及び預金が690百万円、売掛金が719百万円増加したこと等によるものであります。

負債につきましては、前期末に比べ318百万円増加しました。これは賞与引当金が146百万円、流動負債のその他が275百万円減少するなどの減少要因があったものの、買掛金が633百万円、未払法人税等が169百万円増加したこと等によるものであります。

純資産につきましては、前期末に比べ972百万円増加しました。これは四半期純利益1,964百万円計上、配当金の支払い1,080百万円により利益剰余金が883百万円、繰延ヘッジ損益が21百万円およびその他有価証券評価差額金が67百万円増加したことによるものであります。

## (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表いたしました業績予想から修正は行っておりません。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位:百万円)

	前事業年度 (平成29年3月31日)	当第2四半期会計期間 (平成29年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,515	11,205
売掛金	6,107	6,826
商品及び製品	1,151	1,121
仕掛品	773	622
原材料及び貯蔵品	3,583	3,689
その他	491	420
流動資産合計	22,623	23,885
固定資産		
有形固定資産	4,747	4,648
無形固定資産	21	49
投資その他の資産	2,094	2,192
固定資産合計	6,863	6,891
資産合計	29,486	30,776
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,620	2,254
未払法人税等	765	935
賞与引当金	342	196
役員賞与引当金	174	77
その他	1,792	1,516
流動負債合計	4,696	4,980
固定負債		
退職給付引当金	795	802
資産除去債務	36	36
長期未払金	19	19
その他	144	172
固定負債合計	995	1,030
負債合計	5,692	6,010
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,160	2,160
資本剰余金	3,082	3,082
利益剰余金	17,948	18,832
自己株式	△0	△0
株主資本合計	23,190	24,074
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	606	673
繰延ヘッジ損益	△3	18
評価・換算差額等合計	603	692
純資産合計	23,794	24,766
負債純資産合計	29,486	30,776

(2) 四半期損益計算書  
(第2四半期累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
売上高	14,643	15,238
売上原価	9,054	8,163
売上総利益	5,589	7,075
販売費及び一般管理費	3,831	4,231
営業利益	1,758	2,844
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	10	11
為替差益	-	28
雑収入	4	4
営業外収益合計	15	45
営業外費用		
支払手数料	3	3
為替差損	379	-
雑損失	1	0
営業外費用合計	383	3
経常利益	1,390	2,885
特別損失		
固定資産除売却損	8	8
特別損失合計	8	8
税引前四半期純利益	1,382	2,876
法人税、住民税及び事業税	402	873
法人税等調整額	46	38
法人税等合計	448	912
四半期純利益	933	1,964

## (3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税引前四半期純利益	1,382	2,876
減価償却費	337	335
賞与引当金の増減額(△は減少)	△131	△146
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△34	△97
退職給付引当金の増減額(△は減少)	30	7
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△0	△0
受取利息及び受取配当金	△10	△12
支払手数料	3	3
為替差損益(△は益)	4	△2
有形固定資産除売却損益(△は益)	8	8
売上債権の増減額(△は増加)	△724	△719
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,775	76
その他の資産の増減額(△は増加)	38	6
仕入債務の増減額(△は減少)	719	633
その他の負債の増減額(△は減少)	23	△356
小計	3,420	2,613
利息及び配当金の受取額	67	62
支払手数料の支払額	△2	△2
法人税等の支払額	△567	△692
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,917	1,980
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△1,242	△172
無形固定資産の取得による支出	△0	△7
有形固定資産の除却による支出	△0	△23
資産除去債務の履行による支出	-	△5
投資有価証券の取得による支出	△2	△2
貸付金の回収による収入	0	1
保険積立金の積立による支出	△2	△2
その他	0	3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,247	△210
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
配当金の支払額	△562	△1,078
財務活動によるキャッシュ・フロー	△562	△1,078
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,107	690
現金及び現金同等物の期首残高	5,069	10,500
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,177	11,190

## (4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自平成28年4月1日 至平成28年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,104	2,533	14,638	5	14,643
計	12,104	2,533	14,638	5	14,643
セグメント利益	1,438	317	1,755	2	1,758

(注) 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	1,755
「その他」の区分の利益	2
四半期損益計算書の営業利益	1,758

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期累計期間(自平成29年4月1日 至平成29年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注)	合計
	ごま油	食品ごま	計		
売上高					
外部顧客への売上高	12,701	2,530	15,232	6	15,238
計	12,701	2,530	15,232	6	15,238
セグメント利益	2,396	445	2,841	2	2,844

(注) 1. 「その他」の区分には、「仕入商品販売」を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,841
「その他」の区分の利益	2
四半期損益計算書の営業利益	2,844

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。



(重要な後発事象)

取得による企業結合

当社は、平成29年10月30日開催の取締役会において、カタギ食品株式会社の全株式を取得し、連結子会社化することを決議いたしました。

当社は同日に株式譲渡契約を締結し、平成29年11月16日に株式を取得する予定であります。

詳細は本日(平成29年10月30日)別途公表の「カタギ食品株式会社の株式取得に関するお知らせ」をご参照ください。